

ウクライナ避難民の受け入れの現況

○ ウクライナ避難民 都内自治体別在留数（2025年2月16日現在）

※ 出入国在留管理庁からの情報提供内容を都で集計

区	中央	港	新宿	文京	台東	江東	品川	目黒	大田	世田谷	渋谷	中野	杉並	豊島	北	荒川	板橋	練馬	足立	葛飾	江戸川
	15	39	38	16	33	41	5	13	4	14	4	6	36	13	26	1	40	5	67	48	27
市町村	八王子	立川	三鷹	青梅	府中	昭島	調布	町田	小平	日野	国分寺	福生	狛江	多摩	羽村	西東京					
	11	20	45	2	14	31	8	4	5	3	1	6	1	2	3	2					

（入管庁確認）・対象：入国時点で避難目的であることが確認できた人

・住所：本人の申し出ベースのため、当人が確実にその場所にいるどうかは未把握

ウクライナ避難民の受け入れの現況

○ ウクライナ避難民 在留数の推移

時点	東京都	国
2024年3月13日	606名	2,099名
2025年2月28日	624名	1,980名
	+ 18名	△119名

国の支援

ウクライナ避難民の受入れ状況

◆ ウクライナからの避難民受入れ数

(令和4年3月2日(総理による受入れ表明日)～同7年2月28日時点・速報値)

2,751人

- ・男女別：男 803人、女 1,948人
- ・年代別：18歳未満 407人
18歳以上61歳未満 1,963人
61歳以上 381人
- ・入国時身元引受先なし 404人

◆ ウクライナ避難民の在留者数 (令和7年2月28日時点・速報値)

1,980人

【参考】令和3年末時点ウクライナ人在留者数 1,915人

政府全体の検討体制

- ◆ ウクライナ避難民対策連絡調整会議
- ◆ ウクライナ避難民の対応に関するタスクフォース

出入国在留管理庁の体制等

- ◆ 法務省ウクライナ避難民受入れ支援対策本部
- ◆ 出入国在留管理庁ウクライナ避難民受入れ支援対策PT
- ◆ 地方出入国在留管理官署ウクライナ避難民受入支援担当(計66か所)

ウクライナ避難民への支援

◆ 在留資格について柔軟な対応

- ・「特定活動(1年・就労可)」に迅速に変更するなど、柔軟な対応

◆ ウクライナ避難民受入支援担当による相談対応

- ・避難民支援担当が各自治体と連携し、ニーズの把握、相談対応等実施

◆ 帰国支援

- ・個別の事情に応じ、ウクライナ本国や第三国への帰国(出国)費用を支援

◆ 身元引受先のないウクライナ避難民への生活費支援(※)

- ・生活費日額 2,400円(支援開始から最長2年間)を支給

※補完的保護対象者認定制度の施行日(令和5年12月1日)前に入国した避難民が対象

【参考】日本財団は、同財団の生活費支援対象者に対して帰国支援を実施

補完的保護対象者認定制度を活用したウクライナ避難民への支援

◆ 安定した在留資格

- ・補完的保護対象者と認定された場合、原則として「定住者(5年)」への在留資格変更が可能

◆ 定住支援プログラム

- ・補完的保護対象者に対しては、日本語教育や生活ガイダンスを受講できる「定住支援プログラム」を提供するなど我が国での自立に向けた支援を実施

◆ 相談窓口

- ・補完的保護対象者認定申請者及び補完的保護対象者向けの相談窓口を設置

- 補完的保護対象者認定制度の詳細については出入国在留管理庁HPに掲載(https://www.moj.go.jp/isa/refugee/procedures/07_00037.html)

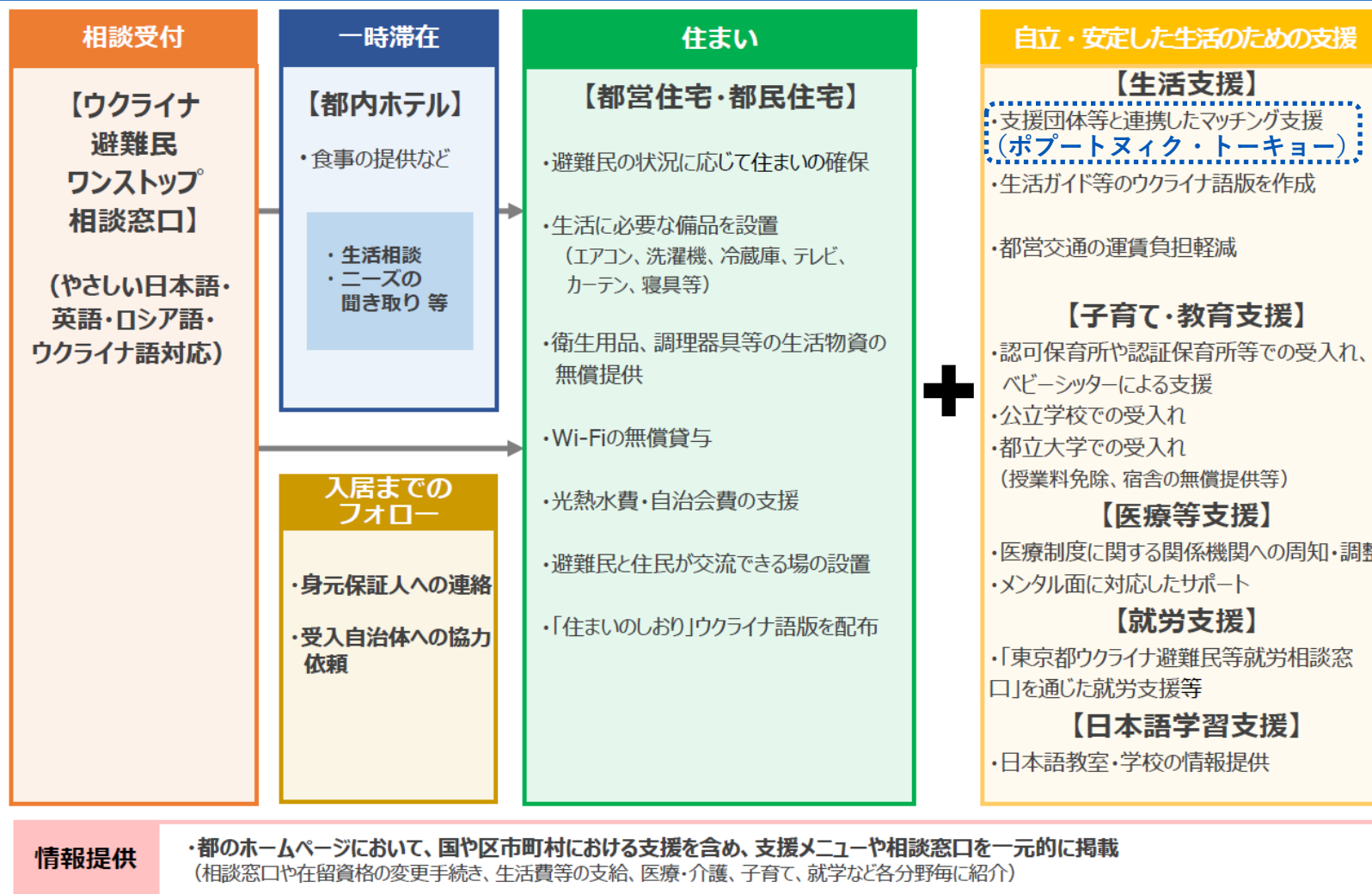
- 令和6年度の補完的保護対象者等への各種支援事業は公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部(RHQ)に委託して実施

- 支援の詳細についてはRHQのウェブサイトに掲載(<https://www.rhq.gr.jp/jp2/>)

国の支援については、以下を参照

https://www.moj.go.jp/isa/support/fresc/01_00234.html

東京都の支援



都のウクライナ避難民支援については、以下HPを参照

<https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/cross-efforts/ukraine>

ポプートヌィク・トーキョー（東京都ウクライナ避難民マッチング支援事業）

ミッション

避難者の孤立・孤独を防ぎ、地域で自立して安定した日常生活を送れるように、それぞれの状況に寄り添いながら支援

※Попутник（ポプートヌィク）…ウクライナ語で「寄り添う伴走者」の意

実施体制

各主体が得意分野に応じて役割分担し、連携・相互補完



みづかる。つながる。よくなっていく。

- 避難者の状況把握、課題整理、マッチング支援
- 交流の機会の企画・実施

協定



公益財団法人
東京都つながり創生財団
Tokyo Metropolitan Foundation "TSUNAGARI"

- 国際交流協会や外国人支援団体等との連絡調整
- ワンストップ相談窓口の運営
- つなぎ先や都への言語支援



東京都生活文化スポーツ局
Bureau of Citizens, Culture and Sports

- 都庁各局施策との連携
- 国・区市町村との連絡調整
- 情報共有等の機会の設定

ポプートヌィク・トーキョーについては、以下HPを参照

https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/chiiki_tabunka/tabunka/tabunkasuishin/0000001802.html

東京都多言語相談ナビ (ウクライナ避難民ワンストップ相談窓口)

生活の中での困りごとや知りたいことについて、下記対応言語で受け付け、適切な窓口の案内や情報の提供を行っています。

0120-142-142

(月～金10:00～16:00 土日祝・年末年始除く)

通話料無料
(フリーダイヤル)

【対応言語】

やさしい日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、ロシア語、タガログ語、ベトナム語、ヒンディー語、ネパール語、フランス語、インドネシア語

※ウクライナ避難民ワンストップ相談窓口(多言語相談ナビ内、上記と同番号)にて、上記に加えてウクライナ語対応。

とうきょうと た げん ご さん だん
東京都 多言語 相談ナビ
— Tokyo Multilingual Consultation Navi —

家族と一緒に住んでいる外国人は、生活で困っていることや知りたいことについていろいろな言葉で相談できます。電話で相談できます。相談の必要はかかりません。無料です。東京都つながり創生財団で相談できます。

大丈夫です！相談してください

高齢や子どもについて
言葉の壁の
日常生活の
相談のことについて
暮らしの困りごとについて

ウクライナから避難してきた人たちのための 相談窓口
ひなん めん
**ウクライナ避難民
ワンストップ相談窓口**
さんだん まどぐち

東京都つながり創生財団は、ウクライナから避難（※）してきた人たちのための窓口を開いています。※避難（危険なところから 安全なところへ 行くこと）
東京都で安心して生活できるように必要な情報を教えたり、くわしい相談ができることを 案内します。

0120-142-142
(通話料無料)
東京都多言語相談ナビ内

●相談できる 時間
月曜日から 金曜日の 午前10時から 午後4時まで（祝日は 休み）

●話すことができる 言葉
やさしい日本語、英語、ウクライナ語、ロシア語

公益財団法人
東京都つながり創生財団
Tokyo Metropolitan Foundation "TSUNAGARI"



公益財団法人
東京都つながり創生財団
Tokyo Metropolitan Foundation "TSUNAGARI"

東京都多文化共生ポータルサイト (TIPS)



TIPS for Tokyo Life
Tokyo Intercultural Portal Site
東京都多文化共生ポータルサイト

<https://tabunka.tokyo-tsunagari.or.jp>

- ・「[ウクライナから日本に来た皆さんのための情報](#)」ページに「相談できるところについて」、「仕事について」、「子供の学校について」など項目ごとに情報を掲載。
- ・「[災害について学ぶ](#)」ページに記事を掲載。

➤ 災害について知る－TIPS－

① 災害について学ぶ
① Understanding Natural Disasters

日本でよく起きる災害について
知ることができる記事があります。
(地震・大雨・台風・ハザードマップなど)
Learn about common disasters and
countermeasures in Japan.
(Earthquakes, heavy rain, typhoons, hazard maps, etc.)



② 防災動画
② The Disaster-Awareness Video

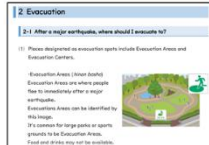
防災・災害についての
アニメ動画を見ることができます。
Watch animated videos on
staying safe in disasters.



➤ 災害のときに役に立つ情報－TIPS－

③ 災害のときのQ&A
③ Natural Disaster Q&A

災害が起きたときに
よくある質問と答えを
まとめました。
Common questions &
answers about disasters.



④ リンク集
④ Links

防災や災害が起きたときに
役に立つWEBサイトを
紹介しています。
Useful websites with disaster-
related information.



・8言語で対応。

にほんご
日本語

えいご
英語
English

ちゅうごくご
中国語
中文

かんこくご
韓国語
한국어

べトナムご
ベトナム語
Tiếng Việt

ネパールご
ネパール語
नेपाली

ポルトガルご
ポルトガル語
Português

スペインご
スペイン語
Español

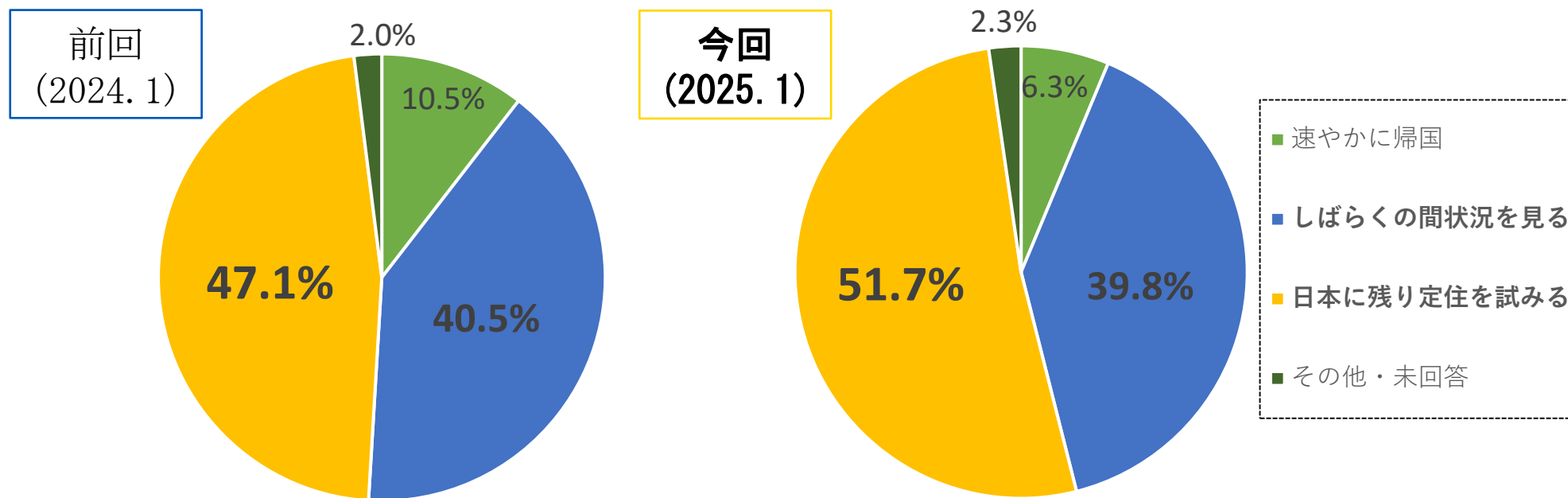


公益財団法人
東京都つながり創生財団
Tokyo Metropolitan Foundation "TSUNAGARI"

避難民の現状

○ ウクライナ避難民へのアンケート結果

- 戦争が終了した場合、どのような選択を希望するか



約9割の方が当面日本に残る意向

避難民の現状

○ 緊急措置的な生活費支援の受給期間の終了

- ・ 国（受給開始から2年間）

順次終了

- ・ 日本財団（受給開始から最長3年間）

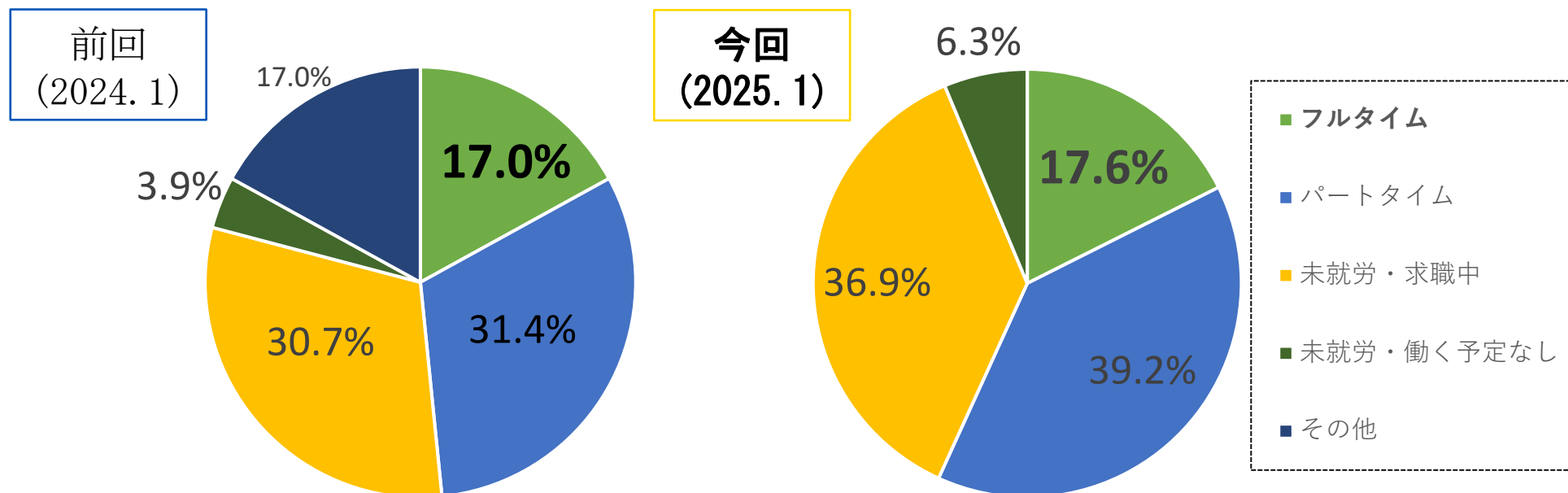
今月から順次終了

⇒ 今回調査回答者の約**76%**が受給中

避難民が日本で自立した生活を送るための主な課題

○ ウクライナ避難民へのアンケート結果

▪ 現在の就労状況



フルタイムでの就労者は2割に満たない

避難民が日本で自立した生活を送るための主な課題

就労

- ☞パート or フルタイム
- ☞ブルーカラー or ホワイトカラー
- ☞専門職 or 一般職



教育

- ☞義務教育 or 私学 or 母国教育
- ☞高校・大学 or 専門学校
- ☞日本語教育 or 母語教育

社会参加

- ☞地域活動
- ☞ボランティア
- ☞趣味活動

中にはこれらの課題への対応に困難を抱える方々も…



各主体が連携して下支えをしていく必要あり